



## 2021年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイル

コード番号 3854 URL <https://www.ill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小倉 直子 TEL 06-6292-1170

四半期報告書提出予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期第1四半期の連結業績（2020年8月1日～2020年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第1四半期	3,433	△13.9	562	△33.6	574	△32.6	362	△34.5
2020年7月期第1四半期	3,988	69.3	847	475.9	851	461.9	553	475.3

(注) 包括利益 2021年7月期第1四半期 363百万円 (△34.1%) 2020年7月期第1四半期 551百万円 (447.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第1四半期	14.48	ー
2020年7月期第1四半期	22.10	ー

(注) 1 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第1四半期	7,728	3,877	50.2
2020年7月期	7,585	3,713	49.0

(参考) 自己資本 2021年7月期第1四半期 3,877百万円 2020年7月期 3,713百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	ー	7.00	ー	8.00	15.00
2021年7月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年7月期（予想）	ー	6.00	ー	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,467	△7.1	792	△35.4	802	△34.9	521	△35.7	20.81
通期	12,350	△2.6	1,200	△29.4	1,226	△28.5	784	△34.0	31.35

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2 2021年7月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等について、現時点で想定される影響を見込んで算定しております。なお、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに公表致します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期1Q	25,042,528株	2020年7月期	25,042,528株
② 期末自己株式数	2021年7月期1Q	5,094株	2020年7月期	5,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期1Q	25,037,434株	2020年7月期1Q	25,042,434株

(注) 当社は、2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年8月1日～2020年10月31日)におけるわが国経済は、世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大している中、国内においては、緊急事態宣言の解除後、景気は依然として厳しい状況にあり、個人の消費は持ち直しの動きはみられますが、雇用、所得環境等において影響が出ております。当社グループが属する情報サービス業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、ソフトウェアに対する投資において、影響が出る可能性があります。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略とし取り組んでまいりました。

「CROSS-OVER シナジー」戦略は、当社グループが提唱してきた独自の提案スタイルで、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現するものであり、当社グループにとって商談時の競合力を強化するだけでなく、顧客満足度も向上させるものであります。この戦略効果により、当社グループが重視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

販売実績につきましては、「リアル」面では、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進め、販売面でもパートナー企業との連携に加え、コロナ禍において、Web会議を利用した打合せ等を積極的に行うことにより、豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、受注実績も堅調に推移いたしました。収益面につきましては、前連結会計年度中に実施された消費税率の改定やWindows 7のサポート終了等による特需の反動により、前年同四半期と比較して、売上高、利益共に減少いたしました。

「Web」面では、複数ネットショッパー一元管理ソフトである「CROSS MALL」について、新たなショッピングモールとの連携開発を当期も継続して取り組んでまいりました。今後も引き続き、複数モールとの連携機能強化を行うとともに、既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで、商品力を向上させ販売実績を伸ばしてまいります。また、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフトである「CROSS POINT」につきましても、販売実績を伸ばしております。

当四半期連結累計期間においても、継続して製品の開発に注力しており、将来における新たな技術開発による市場競争力向上に向け、研究開発費8,439千円を計上しております。島根県松江市の研究開発拠点である「アイル松江ラボ」においては、プログラミング言語「Ruby」によるシステム強化の活動を本格的に始動しており、今後も研究開発人員を増加し、研究開発活動の強化を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高3,433,399千円(前年同期比13.9%減)、営業利益562,412千円(前年同期比33.6%減)、経常利益574,044千円(前年同期比32.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益362,643千円(前年同期比34.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて142,712千円増加し、7,728,076千円となりました。これは主に、商品84,747千円、仕掛品219,577千円等が減少した一方、現金及び預金57,697千円、受取手形及び売掛金347,508千円、繰延税金資産61,702千円等が増加したことによりです。

また、負債合計は、前連結会計年度末と比べて20,601千円減少し、3,851,030千円となりました。これは主に、賞与引当金221,430千円等が増加した一方、未払法人税等60,407千円、流動負債の「その他」に含まれる前受金123,685千円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税101,296千円等が減少したことによりです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて163,313千円増加し、3,877,046千円となりました。これは主に、剰余金の配当200,299千円による減少があった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益362,643千円等による増加があったことによりです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、概ね当社グループの予想範囲内にて推移しており、2021年7月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,194,666	2,252,364
受取手形及び売掛金	1,202,439	1,549,947
商品	296,824	212,076
仕掛品	1,171,533	951,956
その他	130,422	112,076
貸倒引当金	△2,007	△2,506
流動資産合計	4,993,879	5,075,915
固定資産		
有形固定資産	463,135	476,772
無形固定資産		
ソフトウェア	821,432	857,376
ソフトウェア仮勘定	209,057	166,340
その他	1,739	1,739
無形固定資産合計	1,032,229	1,025,456
投資その他の資産		
繰延税金資産	368,721	430,423
その他	730,324	722,511
貸倒引当金	△2,926	△3,003
投資その他の資産合計	1,096,120	1,149,932
固定資産合計	2,591,485	2,652,161
資産合計	7,585,364	7,728,076
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	384,335	376,325
1年内返済予定の長期借入金	176,632	139,964
未払法人税等	359,556	299,149
賞与引当金	70,000	291,430
製品保証引当金	26,104	24,726
その他	1,349,850	1,192,650
流動負債合計	2,366,478	2,324,245
固定負債		
長期借入金	15,000	—
退職給付に係る負債	1,006,187	1,027,225
役員退職慰労引当金	312,430	327,664
資産除去債務	171,534	171,894
固定負債合計	1,505,152	1,526,784
負債合計	3,871,631	3,851,030

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,673	354,673
資本剰余金	319,673	319,673
利益剰余金	3,062,544	3,224,888
自己株式	△9,872	△9,872
株主資本合計	3,727,019	3,889,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,709	△4,636
退職給付に係る調整累計額	△8,577	△7,681
その他の包括利益累計額合計	△13,287	△12,317
純資産合計	3,713,732	3,877,046
負債純資産合計	7,585,364	7,728,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
売上高	3,988,665	3,433,399
売上原価	2,161,531	1,827,538
売上総利益	1,827,133	1,605,860
販売費及び一般管理費	979,665	1,043,448
営業利益	847,468	562,412
営業外収益		
受取手数料	2,917	2,379
違約金収入	—	440
補助金収入	849	8,999
その他	729	303
営業外収益合計	4,496	12,122
営業外費用		
支払利息	807	489
営業外費用合計	807	489
経常利益	851,156	574,044
特別損失		
固定資産除却損	0	21
特別損失合計	0	21
税金等調整前四半期純利益	851,156	574,023
法人税、住民税及び事業税	346,589	273,477
法人税等調整額	△48,992	△62,097
法人税等合計	297,596	211,379
四半期純利益	553,559	362,643
親会社株主に帰属する四半期純利益	553,559	362,643

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	553,559	362,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△282	73
退職給付に係る調整額	△1,454	896
その他の包括利益合計	△1,737	969
四半期包括利益	551,822	363,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551,822	363,613
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。